まちを知る　議会を知る

みのかも市議会だより

2017.8.1
No.170

平成29年市議会第2回定例会

- 旧岐阜県生物工学研究所跡地を総合医療センター用地として売却することを可決
- 補正後総額208億463万円、一般会計補正予算案を可決

川と森の勉強会（6月17日　中之島公園）

主な内容

◆定例会の審議結果…… 2～4P
◆委員会審査の概要
企画建設常任委員会…… 5P
文教民生常任委員会… 5・6P
◆市政一般に対する質問と答弁
…… 7～14P
◆活動ピックアップ…… 15P
◆お知らせ…… 16P

定例会の審議結果

平成29年 第2回 定例会

旧岐阜県生物工学研究所跡地を総合医療センター用地として売却することを可決

市議会第2回定例会は、6月5日に開会し、27日までの会期23日間で開催しました。

初日は、14議案（請願1件を含む）を上程し、議第33号・35号については採決、その他の議案については提案説明、請第1号については、委員会付託を行いました。

14・15日には、14人の議員が一般質問を行いました。

16日には、各議案に対する質疑を行ったほか、追加した議第36・37号も提案説明・質疑を行い、併せて委員会付託し、議第38～51号については、採決を行いました。

付託された各議案の審査のため、19日に企画建設常任委員会、20日に文教民生常任委員会を開催しました。

27日には、各議案に対する委員長報告・質疑・反対討論・採決を行い、定例会を閉会しました。

議案クローズアップ　議第37号　財産の処分

議案の概要

岐阜県から平成26年に取得した土地（旧岐阜県生物工学研究所跡地）を、市の地域医療体制の強化を目的に「総合医療センター用地」として売却することについて議会の議決を求めるもの。

地方自治法第96条第1項第8号及び美濃加茂市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により、財産の処分について議決が必要となる。

本件は、5月25日付で仮契約が済まされており、議決により本契約となった。

処分する財産：美濃加茂市蜂屋町上蜂屋字石塚3454番5ほか8筆の土地（地目はすべて宅地）
合計面積：85,732.44平方メートル　**処分の目的**：地域医療体制の強化
売却額：9億7,758万7,993円　**売却の相手方**：社会医療法人　厚生会

売却された土地（市のドローンにより撮影）

定例会の審議結果

議案等の審議結果

全会一致で承認・可決・同意された議案

議案番号	議案名	主な内容
承第3号	専決処分の承認を求めることについて 平成28年度美濃加茂市一般会計補正予算（第9号）	10万6千円の増額、予算総額は220億9,332万1千円 寄附金による保育園備品購入の増額補正、20事業の繰越明許費補正
承第4号	専決処分の承認を求めることについて 美濃加茂市税条例等の一部を改正する条例	地方税法及び航空機燃料譲与税法の一部を改正する法律が平成29年4月1日に施行されたことに伴い、所要の改正を行うもの
承第5号	専決処分の承認を求めることについて 美濃加茂市都市計画税条例の一部を改正する条例	地方税法及び航空機燃料譲与税法の一部を改正する法律が平成29年4月1日に施行されたことに伴い、所要の改正を行うもの
承第6号	専決処分の承認を求めることについて 美濃加茂市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部を改正する政令が平成29年4月1日に施行されたことに伴い、所要の改正を行うもの
承第7号	専決処分の承認を求めることについて 美濃加茂市国民健康保険条例の一部を改正する条例	国民健康保険法施行令の一部を改正する政令が平成29年4月1日に施行されたことに伴い、所要の改正を行うもの
承第8号	専決処分の承認を求めることについて 平成29年度美濃加茂市一般会計補正予算（第1号）	214万2千円の増額、予算総額は197億7,214万2千円 あい愛バス試験運行車両借上料の増額補正
議第29号	美濃加茂市特別用途地区内における建築物の制限の緩和に関する条例	西体育館の建て替えのため、建築基準法第49条第2項の規定に基づき、特別用途地区内における建築物の制限を緩和する条例を制定するもの
議第30号	美濃加茂市道に設ける道路標識の寸法を定める条例の一部を改正する条例	道路標識、区画線及び道路標示に関する命令の一部改正に伴い、条例の改正を行うもの
議第32号	平成29年度美濃加茂市後期高齢者医療会計補正予算（第1号）	939万5千円の増額、予算総額は5億5,390万5千円 県後期高齢者医療広域連合等負担金の追加分等の増額補正
議第33号	美濃加茂市農業委員会委員に占める認定農業者等又はこれらに準ずる者の割合を4分の1以上とすることにつき同意を求めること	市農業委員会委員に占める認定農業者等又はこれらに準ずる者の割合を4分の1以上とすることの同意
議第34号	損害賠償の額を定めること	地方自治法第96条第1項第13号の規定に基づく損害賠償の額の決定 公用車両と民間車両との物損事故に関し、損害賠償の額を定めることについて議決を求めるもの
議第35号	美濃加茂市固定資産評価員の選任	税務課長の人事異動に伴う後任評価員の選任同意
議第36号	平成29年度美濃加茂市一般会計補正予算（第3号）	10億1,454万円の増額、予算総額は208億463万4千円 財産の処分に伴う土地開発基金への繰り出し、落雷による文化会館の空調設備等の修繕、寄附金による児童福祉費・小学校費の増額補正等
議第37号	財産の処分	総合医療センター用地として売却するために公有財産を処分することについて議決を求めるもの（詳細は2ページに掲載）
議第38号 ～ 議第51号	美濃加茂市農業委員会委員の任命	美濃加茂市農業委員会委員の任命同意（委員は下段に掲載）

美濃加茂市農業委員会委員

農業委員会等に関する法律の規定により、議会の同意を得て、下記の方々が市長に任命されました。

（任期：平成29年7月20日～平成32年7月19日）

中島　良紀 氏（西　町）
日比野　学 氏（御門町）
春見　義則 氏（蜂屋町）
酒向　康夫 氏（加茂野町）
渡邉　秀子 氏（下米田町）
渡邊　史恵 氏（西　町）
小池　和昭 氏（山之上町）
堀部　士郎 氏（蜂屋町）
福田美津枝 氏（伊深町）
佐合　隆 氏（下米田町）
鬼頭　昌章 氏（本郷町）
井戸　和也 氏（山之上町）
間宮　子鈴 氏（加茂野町）
朝日　修 氏（三和町）

定例会の審議結果

賛否の分かれた議案

【表示記号】 議決結果：◎…可決　×…不採択
賛否状況：○…賛成　×…反対　ー…議長のため採決に加わらない

議案番号	議案名 / 主な内容	議決結果	議員名 渡辺孝男	酒向信幸	日置祥子	牧田秀憲	渡辺義昌	坂井知足	村瀬正樹	渡辺益巳	高井厚	佐合広和	前田孝	金井文敏	柘植宏一	片桐美良	森弓子	山田栄
議第31号	平成29年度美濃加茂市一般会計補正予算（第2号） 1,795万2千円の増額、予算総額は197億9,009万4千円 あい愛バス新路線地域支線交通負担金、総合福祉会館の高木剪定、食材費高騰による給食材料費等の増額補正	◎	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	ー	○
請第1号	小中学校給食費の保護者負担軽減を求める請願 市へ2学期からの給食費値上げの中止、食材費高騰による赤字は公費で解決することを求める請願	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	ー	×

議員表彰

平成29年度全国市議会議長会及び東海市議会議長会総会の定期総会において、下記の議員が表彰され、議会初日に議長から表彰状の伝達を行いました。

山田　栄 議員

正副議長4年以上

議　長：平成17年、平成24年、平成27年
副議長：平成14年
※上記いずれも当年10月から次年10月まで

前田　孝 議員

議員在職10年以上

議員歴：平成18年10月～現在
※前田議員へは、地方自治功労市長表彰も送られました

議会を傍聴しました

今回の定例会を傍聴された方々からいただいたご意見を掲載します。

・今回より傍聴席に転落防止柵が設置され、老人の私にとっては嬉しい限りです。市長の二期目の抱負には、力強さと前向きさを感じました。

・初めて議会を傍聴させてもらいました。途中からでしたが、資料もあり、わかりやすく聞かせてもらいました。時間をかけて、市のためにと議会の方が動いて下さっていることがわかりました。また、今はインターネット配信があり、傍聴される方が少ないと聞いていましたが、それが残念でした。

・青柳橋の状況を知り驚きました。目の届きにくい現場を見つけるのも議員さんの仕事だと、頭の下がる思いです。

・本日初めて議会の様子を傍聴させていただきました。身近な問題はとてもわかりやすく、参考になりました。

・保育園のことなど気になることが聞けて良かった。

・蜂屋町堂洞城跡を観光開発すると良いと考える。ひいては市をアピールできるのではないかと思う。

・初めてで興味深かったです。こうして議会が進められているのを知ることができてよかったです。

委員会審査の概要

委員会審査の概要

本会議で付託された議案について、各常任委員会にて詳細を審査しました。

企画建設常任委員会

《専決処分の承認を求めることについて 平成28年度一般会計補正予算（第9号）》

問 かわまちづくり整備事業について、自然環境体験学習館やバーベキュー広場などのオープン時期は。また、事業の運営方法は。

答 平成30年4月から7月の間にすべての施設を一斉にオープンする予定である。運営については、指定管理者制度での準備を進めている。

自然環境体験学習館完成イメージ図

問 同敷地内に時計塔を設置する考えは。

答 自然環境体験学習館には時計を設置する予定であるが、屋外については現在のところ設置する予定はない。

《専決処分の承認を求めることについて 市税条例等の一部を改正する条例》

問 「わがまち特例」※の割合を3分の1とした理由は。

答 カミーノを推進する立場から、市民・地域・企業等の理解と連携により、子育てと仕事が両立できるまちづくりを目指していくため、国の参酌基準2分の1を超えて、特例割合を設定したものである。

問 制度改正に伴う税収への影響は。

答 308万円程度の税収減になる見込みであるが、地方交付税等の措置がなされる。

※わがまち特例…地域決定型地方税制特例措置の通称。地方税法の定める範囲で地方団体が特例措置の内容を条例で定めることができる。

《特別用途地区内における建築物の制限の緩和に関する条例》

問 条例の具体的な内容は。

答 建築基準法上の規定により、西体育館の新設が、現状ではできないため、当該区域を特別用途地区として設定し、建築できる範囲を指定するものである。

西体育館完成イメージ図

《平成29年度美濃加茂市一般会計補正予算（第3号）》

問 総合医療センター用地に関する予算の算出根拠は。

答 積立金の内訳は、本事業に関連の工事費等で、一般財源とした部分が2，196万6，967円、道路の付替え等で市が所有していた土地の売却分が800万2，032円である。公有財産購入費の内訳は、土地開発基金の活用により、県から取得した土地のうち、今回の売却分が4億5，632万4，863円、普通財産として購入する分が828万6，975円である。繰出金の内訳は、土地開発基金を財源とした事業のうち、今回の売却算入分が4億9，129万4，131円、本市の負担分が948万9，128円である。

問 土地価格の正当性は。

答 この事業は、地域医療の拡充を目的としており、岐阜県から購入した土地の単価により売却するものである。造成等の経費を上乗せすることも以前からの方針として決まっていた。

《財産の処分》

問 地域医療施設の具体的な計画と工事の着手との関係性は。

答 設計図等ができた段階で公表できるものは公表していきたい。

文教民生常任委員会

《専決処分の承認を求めることについて 平成28年度一般会計補正予算（第9号）》

問 前平総合運動場事業の内容及び事業が繰り越しとなった理由は。

委員会審査の概要

答　事業は、同公園再整備計画策定の委託業務である。繰り越しとなった理由については、市民満足度調査の分析に関して時間を要したこと、併せて、公園東側に位置する畜産研究所用地が、数年後に、市へ返還されることとなり、今日現在、この土地利用の方向性が未定であるが、この機会に市民意見を聴取していくこととなったためである。

問　生涯学習施設整備事業（加茂野交流センター）が繰り越しとなった理由は。

答　当初に予定していた地盤改良が、設計以上の改良材が必要となることが現地調査で判明し、その調査にも日数を要した。そのため、工期と金額を勘案し、地盤土の入れ替えを行うこととしたため、繰り越しとなった。

《専決処分の承認を求めることについて　平成29年度一般会計補正予算（第1号）》

問　バス路線対策事業について、6月から開始された、あい愛バス試験運行の状況及び利用者の反応は。

答　6月1日から18日までの間で、一日平均約31・3人と多くの方が利用されている。利用者からは、試験運行であるため、便数の間隔が広く、往復に時間がかかるとの声があった。

あい愛バス試験運行の様子

《平成29年度一般会計補正予算（第2号）》

問　給食材料費について、今年度の給食費の値上げは、県内他市では、一市の一部でしか行われておらず、また、食材費の高騰も、最近では落ち着きもみられる。2学期から給食費を値上げする必要性は。

答　本市では、昨年10月時点で、1食あたり11円の赤字の状態となっていて、米飯給食の日を増やす、デザートの量を減らす等でこれまで対応してきた。給食を一定の水準に戻すためには、値上げは必要と判断した。議決が得られれば、保護者へ十分周知を図り、理解が得られるよう努めていく。

問　準要保護就学援助の状況について、小学校と中学校の両方から援助を受けている世帯の件数は。また、多子世帯への経済的支援に対する本市の見解は。

答　該当する件数は、現在268世帯である。多子世帯の経済的支援については、本市の掲げるカミーノの方針等に基づき、予算化等、何らかの対応が必要と考えている。

問　福祉会館の高木剪定業務の詳細は。

答　同会館の西側の林、約30本を対象とし、台風が到来する時期より前に、高さが現在の3分の2となるよう剪定する。また、作業はクレーンを用いるため、重機等の費用も計上されている。

問　福祉会館の浴室給水管修繕工事について、会館浴室の給湯の取り替え工事の内容及び年間維持費、利用者数等の状況は。

答　工事は、給湯部分の一部取り替えを行う。年間経費は、光熱水費等含め、昨年度は約300万円、年間利用者数は、過去4年平均で9,466人である。

《平成29年度一般会計補正予算（第3号）》

問　寄附金で図書等購入が行われるが、小学校、保育園等へどのように分配するのか。また、各施設へ、どのような形で支給するのか。

答　小学校は、金額30％分を基本均等割り、残り70％分を児童数の比率によって配分し、教育委員会で一括し図書を購入し、各校へ配備する。保育園、子育て支援施設へは、こども課で、絵本やボール、音の出るおもちゃ等を購入し、各施設へ配備する予定である。

問　寄附者への本市の対応は。

答　子どもたちの教育に役立ててほしいという寄附者の意向に沿った形の対応をさせていただくものであり、寄附者へは、感謝状を贈呈させていただいた。

《小中学校給食費の保護者負担軽減を求める請願》

主な意見

・自治体の裁量で給食費を補助することは可能であり、定住促進、貧困対策の観点からも、政策的に取り組むべきであるため賛成。

・本市の給食費は平成22年度から、据え置かれており、今回の諸般の事情を考慮すると、値上げは妥当である。また、PTA代表らで構成される学校給食センター運営委員会でも、値上げについてはやむなしとされているため反対。

・給食費の公費負担は、国策として検討されるべきものであり、本市では、他の内容で教育・福祉の充実を図られたいので賛成できない。

市政一般に対する質問と答弁

14人の議員が登壇し、市政全般に対して、事務の執行状況や将来の方針などについて質問を行いました。
（掲載順は質問を行った順番）

掲載する内容は、各議員が行った質問と答弁の一部を要約したもので、議員から提出された原文を尊重して掲載しています。ご不明な点は、各議員にお尋ねください。

また、すべての質問と答弁は「美濃加茂市議会　議会中継」にて配信していますので、こちらもご覧ください。

なお、議会の公式な記録は、後日公開される会議録にてご確認ください。

森弓子議長

■美濃加茂市議会 議会中継　http://smart.discussvision.net/smart/minokamo/
美濃加茂市議会　議会中継　検索

■視聴方法　トップページ ▶ 会議名から選ぶ ▶ 平成29年第1回定例会 ▶ 6月14日 または 6月15日　市政一般に対する質問

議会中継

■会議録検索システム　http://www.kaigiroku.net/kensaku/minokamo/menu.html

渡辺 孝男 議員

応急手当普及員制度

問　消防職員等に代わり応急手当の指導ができる本制度についての本市の見解及び周知方法は。

答　救急事態に遭遇した場合に、適切な応急手当てを実施するには、日頃から応急手当てに関する知識と技術を1人でも多くの方に学び身につけていただく必要があるため重要と考えている。今後、可茂消防事務組合と連携を取りながら周知を含め積極的に関わっていきたい。

省エネ効果のあるLED照明

問　24時間点灯している市が管理する地下道の照明をLED化した場合の効果は試算しているか。また、今後の更新計画は。

答　市が管理する地下道は10カ所あり、LED照明にした場合、電気使用料金は、年間約30万円で削減割合は54％、CO_2排出量は、年間約7トン削減することができる。今後の更新計画については、通勤・通学による利用者が多い地下道のうち、施設の老朽化で照明が切れる頻度が高い箇所を優先に、安全面・コスト面の効果を調査しながら計画的に行っていく。

市内地下歩道（下古井）

事務処理問題事案の対応

問　同じ誤りが他部署でも発生しないようにするよう、再発防止対策会議は実施されているか。

答　事務処理誤り等の問題事案が発生した場合には、定例部長会議や部課長会議の際に事案を報告し、情報共有をすることで全庁的な注意喚起へと繋げている。現時点では、再発防止対策会議のような特別な機会は設けていないが、今後、リスク管理基本方針の策定や定期的な職員研修の開催等により、職員への徹底と庁内体制の強化に努めていく。

市政一般に対する質問と答弁

渡辺 益巳 議員

市長2期目の抱負

問　市の飛躍のため全力で取り組んで来られた1期目の総括と自己評価、市の将来のあるべき姿と市長の想いは。

答　皆様の理解と協力により、第5次総合計画の将来像である「まぁるいまち みのかも」の実現を目指し、5つの基本目標を具現化する事業を推進するとともに「もっと活力」「もっと安心」「もっと教育」の視点による事業を着実に進めることができた。いよいよ現実のものとなりつつある「人口減少」「超高齢化」が全国的な課題となる昨今「将来にわたってずっと輝き続けることができるまち」を、市の将来あるべき姿とし、引き続き「未来への挑戦」「孫子の代まで住み続けられるまち」の理念のもと、更なる飛躍のため、これまで取り組んできた各テーマにまたがる課題の解決を積極的に取り組んでいきたいと考えている。

PFI事業

問　新庁舎建設の中で、市の医療関係部門の保健センター施設を、社会医療法人厚生会が建設を計画している総合医療センターに併設や間借りする等、民間資金活用を導入する考えはないか。

答　昭和58年に建設された保健センターは、築34年が経過し老朽化も進み、現在の健診や保健事業の実際とは隔たりがある。高い保健サービスを提供していくには限界があり、施設整備の問題や効率性に対しても苦慮している。総合医療センターと連携することも選択肢と考えている。

加茂川水害対策事業

問　加茂川総合内水対策事業の雨水貯留施設整備の進捗状況と各所の工法は。

答　整備状況については、平成26年度に西中学校、平成27年度に山之上小学校、平成28年度に東総合グラウンドにそれぞれ整備した。今後の計画として、平成29年度に前平公園、平成30年度に山手小学校校庭、平成31年度に太田西公園に施設を整備する予定である。工法については、前平公園と太田西公園には地表に溜める型式の施設、山手小学校校庭には地下に溜める型式の施設を予定している。

片桐 美良 議員

市長の政治姿勢

問　今後の雇用先確保（企業誘致）についての考えは。

答　市内全域を見据えて誘致を考えていく。物流が必ず関連してくるため、特定指定用途地域の指定制限の課題もあるが、美濃加茂インター周辺が誘致の基本となると考える。

問　今後の基本姿勢は。

答　なぜ、美濃加茂市が存続しなければならないかということを、しっかり皆様と考え、次の4年間が20年、30年後の大きな要になるよう、魅力あるまちづくりを進めていく。

日本昭和村

問　リニューアル構想案と投資計画及び年次計画は。

答　現有施設も活用しつつ、物販・飲食等ができる立寄型利用と様々な遊びや散策など楽しむ目的型利用の2つのゾーンが設定される。整備に掛かる具体的な投資額は示されていないが、整備は3年間で進められる予定である。

問　公園未利用地の今後の利用と管理計画は。

答　現在の市が中心で利用・管理している形態は継続される。

問　市としての今後の利用構想と期待は。

答　これまで地元地域として様々な連携を図ってきた。今後も森のようちえん、学校の遠足、企業の人材教育活動、地域の伝統文化を披露できる場等として積極的に活用していく。

問　里山の湯の再開時期は。

答　本年2月の改修工事着手時には、7月末までの工期と聞いているが、その後、県から完成時期についての話を聞いていない。少しでも早く供用開始するよう県へ要望していく。

日本昭和村

市政一般に対する質問と答弁

佐合 広和 議員

飛騨木曽川国定公園の環境整備

問 旧青柳橋左岸のポケットパーク内には、橋の歴史が記された看板が設置されている。その説明文中に「飛騨木曽川国定公園」と記すべき箇所が「飛騨木曽川国立・公園」と誤った表記がされているが、本件の対応は。

答 平成8年度の青柳大橋完成時に、旧青柳橋の跡地を整備し看板を設置したものであったが、指摘どおり確認できたので、早急に修正を行っていく。

問 旧青柳橋右岸は「江戸と昭和に出会うまち」とした広告塔が設置されているが、支柱は錆びつき、その周囲も竹林が伸びている。景観が悪く対応が必要と考えるがどうか。

答 広告塔の支柱等に安全性に問題がないか再点検し、必要な措置を講じていく。竹については、関西電力など関係機関に引き続き対応を要望していく。

旧青柳橋右岸の広告塔

山之上地区の梨の花の観光PR

問 4月上旬から下旬にかけて咲く梨の花の美しさを、市内外にアピールしていく考えは。

答 提案は観光行政面からも大いに賛同するものである。これまでに広報や観光協会のフェイスブック等でも紹介しており、「JRさわやかウォーキング」も2回開催された。この景観は、本市特有の財産であり、梨の産地である事のPRにもなるため、今後もしっかりと市や観光協会のホームページ等で掲載していく。

梨の花

前田 孝 議員

ふるさと納税の現状と総務省通知

問 ふるさと納税の状況は。

答 平成29年5月末現在、入金ベースで1,457件、金額3,581万6千円。また、返礼品は180品目である。

問 総務省からの返礼品見直し要請に対する対処状況は。

答 総務省から資産性の高いものとして「ひのきベッド」、価格が高額のものとして「シャワーヘッド雅」「純金糸西陣織最高級真綿掛布団」が該当するため、6月1日をもって返礼品対象から除外した。

問 返礼品見直しの状況は。

答 返礼品が3割を超えるものについては、提供事業者と折衝し、来年度から返礼品の上限が3割となるよう見直し、その都度総務省に報告予定である。

子どもたちのSNS（インターネットを利用した交流システム）の利用状況

問 市内小中高生のスマートフォンの所有率は。

答 小学生は20.4%、中学生40%、高校生は98.2%である。※

問 LINE（無料通信アプリ）の「既読スルー」や「裏サイトグループ」によるいじめなどのトラブルは。

答 大きなトラブルの報告はない。

問 1日のスマートフォンの利用時間は。

答 毎日3時間以上利用している場合で、小学校4年生以上は8.9%、中学生は11.9%、高校3年生は41.4%である。※

※県教育委員会の調査によるもの。小中学生は、平成28年度本市の結果。高校生は、平成27年度県全体の結果。

災害時情報伝達体制確立事業

問 「FMらら」からのケーブルテレビの回線を利用した情報伝達やラジオ受信できる契約についての進捗状況は。

答 総務省や他の放送機関との調整後に、申請手続き、機器製作、設置工事を行い、12月末までには運用開始できる予定である。

問 防災ラジオ1,600台の利用状況は。

答 6月中には発注できる。11月以降順次貸与していく予定である。

問 戸別受信機を全戸に設置すべきではないか。

答 現時点では考えていないが、今後は一部負担を取り入れた方法について検討していく。

市政一般に対する質問と答弁

高井　厚 議員

下水道事業経営戦略の今後

問　農業集落排水の汚水処理原価は411・8円と極めて高く、※経費回収率も37％と低過ぎる値で推移している。その背景分析と公共下水道接続への見通しは。

答　農業集落排水事業の汚水処理施設は、市内に稲辺・山之上・伊深地区の3カ所にあり、稼働率は日平均でそれぞれ、70％、50％、45％に留まっている状況である。このように、汚水処理水量が少ないために、処理施設の運転管理費用が割高になっていることが、経費回収率悪化の原因と考えている。

経営健全化のためには、農業集落排水事業の見直しが必要であると考えており、稲辺地区は、蜂屋川公共下水道へ、山之上地区は、木曽川右岸流域下水道へ接続する方向で今後検討する。接続時期については、既存施設の老朽度を見極め、経済性・効率性を考慮しながら検討していきたい。

※汚水処理原価（汚水を1㎥処理するために必要な経費）…公共下水道は185・7円、特定環境保全公共下水道は194・5円。（平成27年度実績）事業規模が小さい農業集落排水事業は、汚水処理原価が高い傾向にある。

問　平成27年度末の企業債残高は約206億9千万円で、期首より7億円程減少しているが、新経営戦略では、どう見通しているのか。

答　経営戦略では、10年後の平成38年度末の企業債残高を151億8千万円と見込んでおり、平成27年度末から約55億円の削減を予定している。今後の企業債の借入については、雨水排水事業等の建設改良事業で借入するが、適切に管理し、企業債残高を着実に減少させていきたい。

問　自己完結型汚泥燃料化システムのその後は。

答　平成26年6月に地元自治会から反対の決議書をいただき、平成27年3月には地元自治会に対し、事業の中止を回答した。

農道の整備の方向性

問　平成29年度の農道舗装の予定は。

答　財源に県単農道整備事業による補助金を充当し、加茂野町稲辺地内で約300mを計画している。

酒向　信幸 議員

まち・ひと・しごと創生総合戦略「カミーノ」

問　地方の人口減少に対応するため、本市が女性に焦点を絞った「カミーノ」が、実質3年目を迎える。策定から、これまで2年間をどうとらえているのか。

答　市民へ様々な形で周知を行い、市が持続可能な自治体として、明るい未来に向け、市民が希望を持って住み続けられるまちづくりに取り組んできた。

子育て支援をする美濃加茂版ネウボラや森のようちえん、地域活性化スクール等、動き出している施策に加え、今後も市民の声を大切にし、様々なアクションプランを展開していく。

問　昨年9月から開始した、高校生から子育て世代の女性が参加された「カミーノ推進ワークショップ」から出された提案のうち、先ず取り組むべき内容は何か。

答　同ワークショップにおいて、7つのプロジェクトが提案された。その中で今年度は、働きたいという想いを後押しする「きらきらかもジョ・プロジェクト」、女性の交流を促進するイベントを開催する「移動式カミーノ・フェス」、おしゃれに楽しく講座を開催する「カミーノ・スタディルーム」、幼児や児童が外国の言葉や文化に触れる「チャンス・フォー・チルドレン」、父親の育児参加を促す講座やイベントを開催する「みのかもファミリー・プロジェクト」の5つのプロジェクトを実施していく。また、残り2つのうち「病児保育」については、6月1日から新たに1施設が受け入れを開始している。

チャンス・フォー・チルドレン

問　夢を叶えた人、これから夢を実現しようとしている人が「美濃加茂でよかった」と思えるようにしていくための支援策は。

答　姫Bizや女性を中心としたNPO活動、また、新規の事業や活動について継続的な支援や協力を行い、市に住んでよかったと思える人の増加につなげていきたい。

市政一般に対する質問と答弁

金井 文敏 議員

企業誘致担当課の設置の必要性

問 本市の企業誘致のあり方は。

答 これまでの企業誘致等の対応により、本市や周辺地域における雇用確保、市民所得の向上につながっている。今後も、人口減少や雇用需要と供給のバランス、用地の確保などを勘案しながら、地域の経済成長のため、企業の誘致や留置に積極的に取り組んでいく。

ハザードマップのCUD採用

問 CUD(カラーユニバーサルデザイン)を採用し、色の見え方が一般と異なる先天的な色覚異常、白内障、緑内障等の方へ情報が正確に伝わるよう、色使いに配慮していく考えは。

答 色覚障害の方への配慮が必要である中、職員の認識が不十分で、配慮に欠けると見受けられる配色の印刷物等が存在している。今後は、視覚障害の特性を理解し、内容を判断しやすいように、判別しづらい色の組み合わせを避け、大きく太めの文字による表記など、配慮がなされるよう職員間で情報共有をしていく。併せて、事前に準備・購入する物等、色を利用する必要がある場合には、関係部署に配慮を周知・要請していく。

飼い犬及び飼い猫の避妊・去勢手術補助金

問 野生では子孫を残すことはとても重要なことであるが、人間と暮らす上では、ブリーディングに使われる動物以外、生殖能力を必要としない。しかし、動物本来の本能に従い、望まれずに生まれてくる子は後を絶たず、やむなく殺処分されている。そのような可哀想な子を減らすため、補助を行う考えは。

答 市では、飼い主不明の犬・猫の対策を推進するべきであると考えており、今年度より飼い主不明猫の不妊手術費用助成を開始した。飼い主のない猫による無秩序な繁殖が繰り返されることのないよう、県と連携しながら、命の尊厳を守るように進めていく。

岐阜県動物愛護センターのポスター

牧田 秀憲 議員

市長2期目の所信表明

問 2期目への挑戦に対し、具体的な政策は。

答 近い将来に迫る超高齢化に備え、福祉政策を充実させると同時に、高齢者にとって優しく、市民の支援の輪を広げながら、市としても合理的な対応ができるようなまちづくりを、ハード・ソフトの両面から進めていかなければならないと考えている。

また、地方の存在価値として、多様な人材育成という視点が、重視される時代になると考えており、教育について、これまで以上に変化する時代に対応できるカリキュラムを充実させていきたい。

2期目を迎えた藤井市長

受動喫煙防止

問 受動喫煙防止についての考えは。

答 現在、厚生労働省からは、大まかな骨子は示されているが、まだ検討する部分も多いように見受けられる。健康増進法によるこれまでの受動喫煙防止の取り組みを限界と判断され、新たな受動喫煙防止対策の基本的な考えとして、国民の8割を超える非喫煙者を、受動喫煙による健康被害から守るため、多数の者が利用する施設等の一定の場所での喫煙の禁止、管理権原者への喫煙禁止場所の位置の掲示等を義務付けることとされており、完全な受動喫煙の防止へ向かっているとみられる。

市としても、法の制定に注目しつつ、条例制定も視野に入れ、受動喫煙防止を検討していきたいと考えている。

ヤギさん除草に関する産官学連携

問 過日、ヤギさん除草の研究実績報告会が行われた。4年間で積み重ねた研究の成果は。

答 ヤギさん除草による効果として、法面の除草費用が通常の人力より安価であること、ヤギさんとのふれあいで癒し効果が得られること、マスコミにとりあげられる機会が多く、市が全国的にPRされていることがあげられる。市にとって、除草コストのみならず、それ以外の点においても大きな利点があったと考えられる。

市政一般に対する質問と答弁

日置 祥子 議員

国民健康保険

問　本年度本算定による1世帯当たりの保険料の平均は。

答　医療給付費、後期高齢者支援金、介護保険分の歳入・歳出を精査し、料率の見直しを行う。転入者の所得、世帯数についても変動が生じることから7月に行う保険料の本算定までは保険料の平均は確定できない。

問　確定的な数字が出ないまでも保険料は、下がるのか、現状維持か、上がるのか。

答　料率の見直しで、小幅ながら下がる。

問　来年度からの制度都道府県化に向けた、県市町村連携会議等における協議の内容は。

答　国保事業納付金の算定にあたり、医療費水準の反映の度合いや保険料の急激な上昇が見込まれる市町村への激変緩和措置の適用方法等の協議検討が行われている。

問　被保険者は保険料が上がることを心配している。平成29年1月の第2回試算内容は。

答　国から、最終的な国保事業納付金の算定方法や係数が示されていないため、現時点では、保険料がどの程度になるか検討できない。

問　本年度及び来年度以降の国民健康保険料について、市長の見解は。

答　本年度は、まだ具体的な数字の提示はできないが、理解が得られる見直しをしている。来年度も、少なくとも値上がりしないよう心掛けていきたい。

就学援助施策

問　就学援助対象の要保護者・準要保護者の人数と全児童・生徒に対する認定割合は。

答　小学生の要保護児童は1人、準要保護児童は251人で7.1％、中学生の要保護生徒は2人、準要保護生徒は140人で9.1％である。

問　子どもの貧困率16・3％（平成24年厚生労働省調査結果）の数字から見ると少ないが、準要保護対象者の拡大の検討は。

答　子どもの貧困対策の強化を検討する中で、重要な施策であるので、見直しをしていきたい。

問　本年度、準要保護者に対し、援助金の増額及び入学準備金の支給を適用したか。

答　来年度から、入学前の支給を行いたい。増額は、他市の状況を見て検討する。

村瀬 正樹 議員

教師の働き方改革

問　企業では、過労やストレスによる自殺が相次いでおり、小中学校でも、児童生徒の問題行動対応、部活動の担当、学習指導要領の改訂等で、教師の時間外勤務が増えていないか危惧している。勤務の実態と過負担要因への対策は。

答　勤務実態として、現在、休職者や病休者はいない。平均退校時刻は小学校では19時3分、中学校では19時28分。会議方法の見直しや職務の改善を図り、前年度に比べ10分から20分早くなっている。年次休暇は、授業日には取得しづらいため、夏・冬季休業日に計画的に取得している。

過負担要因への対策として、きめ細かい配慮を必要とする児童生徒の支援のため、市単独採用の支援員を6名増やし、現在59名を配置している。

なお、部活動では22名の外部指導者がある。また、県の運動部活動非常勤講師派遣事業により、教師と同様に単独指導や大会引率のできる2名が、県内唯一、本市に配置されており、今後も推進状況を見届けていく。

問題行動については、担任が一人で抱えこまないよう、生徒指導主事をはじめ、組織で一体となって対応している。

問　文部科学省の教育課程特例校指定を受け、市内全校で先行している英語授業の状況は。

答　平成32年度の全面実施に備え、外国人・日本人の英語指導講師を増やし、体制を整えている。

問　小学校は来年度、中学校は再来年度から全面実施される道徳の教科化についての取り組みは。

答　導入される道徳の教科書を中心とし、児童生徒や地域の特性をふまえ、偏りのない指導を行っていく。また、評価はテストを行わず、記述式とする。

問　「教育勅語」について、教育長の所見は。

答　学校教育において、教育勅語を積極的に扱っていこうとは考えていない。

文教民生常任委員会で道徳教育について視察を行った（7月11日　川崎市）

市政一般に対する質問と答弁

坂井 知足 議員

定住自立圏構想の成果と課題

問 定住自立圏構想は、本市が中心市となり加茂圏域で事業がスタートし、8年が経過している。これまでの事業の成果は。

答 成果については、安定した医療体制の提供を図る「休日急患診療事業」や子育てを支援する「ファミリーサポート事業」など、圏域住民の安全と安心に繋がっているものや環境保全に対する意識啓発を図る「環境フェア」などがある。

また、歴史PRマンガの「夕雲の城」は、圏域の魅力の発信と地域の活性化に繋がっている。

夕雲の城

認定こども園の設置理由と保育園との違い

問 今年4月から「山之上保育園」が「山之上こども園」として、新たにスタートしている。園を変更した理由は。また、従来の保育園との違いは。

答 本来の保育園は、共働きなどによる家庭での保育に欠ける子どもを預かる施設であるが、最近では保育に欠けていないが、集団生活の中で子どもを育てたいというニーズが増えてきたことが理由である。

保育園との違いは、認定こども園となったことで、幼稚園教諭の資格を有する保育士が必要となることや園児については、保育園の標準時間が7時30分から18時30分であるが、保育に欠けない子ども（1号認定）の保育時間は9時から15時までとなっている点がある。

市図書館の図書の紛失・損傷件数

問 市図書館における図書の紛失や損傷は年間でどの位あるのか。また、具体的にはどのような事例があるのか。

答 図書の破損や損傷には、破れやアンダーライン、マーキングなどがあり、昨年度の修理件数は208冊であった。紛失は、昨年度の点検で不明となったものが、中央図書館と北部分室で257冊、東図書館で187冊であった。

柘植 宏一 議員

いじめ・不登校対策

問 いじめ・不登校対策が強調される中、本市の現状は改善されていない。岡山市総社市では、自己肯定感や社会性を醸成するため「だれもが行きたくなる学校づくり」を実践し、いじめや不登校を大幅に減少させている。

社会的な損失としての「大人の引きこもり」解消に向けた実態調査の必要性、いじめ・不登校を撲滅するための教育実践実現について、市長の所感は。

答 調査については、庁内でもその必要性が議論に上がっており、しっかりと取り組んでいきたい。いじめ・不登校対策については、大人の引きこもり対策も念頭に、小中学校在学中に解消できるよう、教育総合会議を通して、しっかり取り組んでいきたい。

総合計画策定

問 地方自治法の改正により総合計画の策定は必須ではなくなった。地方版総合戦略や公共施設等総合管理計画、その他分野別の個別計画が策定される中、第5次総合計画のような総花的で曖昧な指標を持つ計画策定は意味をなくしている。政策分野ごとに専門家の意見が反映された基幹施策とそのKPI（重要業績評価指標）の設定（例えば、いじめ・不登校の削減率）など、個別計画との整合性が担保される策定が必要と考えるがどうか。

答 第5次総合計画は、多くの市民の参画を得て策定され、実施に移されてきたが、目標値に関しての取り組みが不十分であったり、市民に十分に認知されていないなどの課題を残した。また5年や10年という目標設定が有効であるかという課題もある。

次期計画においては、専門家の意見も含め、国・県の指針や個別計画を組み上げた上での総合計画とし、庁内及び市民に、十分に浸透する計画としていきたい。

総社市
「だれもが行きたくなる学校づくり」の概要

市政一般に対する質問と答弁

渡辺 義昌 議員

市民満足度調査

問　市民満足度調査は、市内に在住する満18歳以上の1，500人を対象に行われ、612票40・8％の回答を得た。そのうち注目すべき項目は。

答　今後の公共施設のあり方を問う質問において「統廃合・複合化・民間活用などにより一定のサービスを維持しつつもできるだけ公共施設を減らしていくべきである」の回答が42・5％と最大であり、市民は公共施設の最適化を図り、効率的な運営を望んでいることが伺えた。

また「住みよい・まあまあ住みよい」の回答が81・7％と、5年前に比べ5.6ポイント増加しており、住みやすさとしての市の魅力は向上しているといえる。

保育園の施設整備計画

問　保育園の老朽化の現状は。

答　昭和56年以前に建築された保育園は7園あるが、平成24年度までに耐震工事を行い、補強済みとなっている。その他、雨漏りや漏水、施設備品の買い替え等は、順次対応している。

問　整備計画に関する説明会、パブリックコメントでの意見は。

答　施設が老朽化しているため、早期の建築を望む声や園庭にある遊具を更新してほしいなどの声があった。また、小規模な保育園の良さや交流センターとの複合化を望む意見もあった。

問　園の統廃合、施設の複合化についての考えは。

答　統廃合については、建物の維持管理費等を削減していくことが必要である。複合化については、他の公共施設との複合化を前向きに検討している。ただし、最終的な結論として、保育園単体で建て替えとなる可能性もある。

問　公立保育園の民営化についての考えは。

答　民間委託や民営化について、前向きに検討していきたいと考えている。

市民満足度調査

議会日誌（主なもの）

5月

- 3日　市体協大会開会式
- 8日　議会運営委員会
- 12日　中之島公園自然環境体験学習館建設工事起工式
- 13日　花フェスタ記念公園春のバラまつり（可児市）
- 15日　可茂地域市町村議会議長会議（御嵩町）
- 16日　市商店街連合会・ポイントカード会合同通常総会
- 18日　中濃法人会美濃加茂支部通常総会
- 22日　中濃十市議会議長会議（可児市）
- 23日　当選証書付与式
- 24日　東海北陸自動車道建設連絡協議会定期総会
- 25日　加茂防衛協会美濃加茂支部定期総会
- 26日　全国市議会議長会定期総会（東京都）
- 27日　国道418号整備促進期成同盟会監査
- 29日　市観光協会総会
- 31日　国道41号美濃加茂・下呂間強靭化推進同盟会会計監査
- 議員OB会 研修会
- 坪内逍遥博士顕彰会総会
- 消防操法大会出場隊激励
- まちづくり特別委員会
- 加茂防衛協会定期総会

6月

- 1日　議会運営委員会
- 2日　シルバー人材センター総会
- 3日　国保運営協議会
- ダボ市派遣説明会
- 5日　市議会第2回定例会（～27日閉会）
- 10日　議会だより編集委員会
- 11日　加茂川排水機場ポンプ増設工事完成式典（坂祝町）
- 17日　市消防操法大会・消防団競練会
- 21日　少年の主張美濃加茂大会
- 22日　都市計画審議会
- 25日　市社会福祉協議会定時評議員会
- 26日　みのかも健康の森あじさいまつり開会式
- 27日　美濃加茂商工会議所通常総会
- 29日　新庁舎建設特別委員会
- 議会だより編集委員会

7月

- 5日　議会だより編集委員会
- 6日　岐阜県市議会議長会議
- 10日　文教民生常任委員会行政視察（～12日）
- 11日　企画建設常任委員会行政視察（～13日）
- 13日　国道418号整備促進期成同盟会
- 14日　議会だより編集委員会
- 22日　スポーツ少年団野球の部交流大会
- 27日　名濃バイパス建設促進期成同盟会定期総会（小牧市）
- 県消防操法大会出場隊激励会
- 28日　議会運営委員会
- 四線促進期成同盟会総会（可児市）
- 31日　主要地方道美濃加茂和良線建設促進期成同盟会、関・郡上・下呂間道路整備促進期成同盟会合同総会（郡上市）

活動ピックアップ

活動ピックアップ

タブレット導入に向け、研修を行いました。

4月26日、全議員でタブレット機器の研修を行いました。

市議会では、議会改革の一環として、タブレット機器の導入に向けた取り組みを行っています。議会のタブレット導入は、議会運営の効率化やペーパーレスの推進等、幅広い活用が見込まれ、近隣の市議会でも取り入れられています。

今回は、議員全員が実際にタブレット機器を使い、議会向け文書共有システムの操作の研修を行いました。

なお、現在は、タブレット本体の仕様や導入するアプリケーション、議員の利用にあたっての取り決め等について協議を重ねています。

タブレットの効果が十分に発揮され、さらなる議会活性化が図られるよう、引き続き取り組んでまいります。

本市にて、岐阜県市議会議長会議を開催しました。

7月6日、シティホテル美濃加茂にて、第278回岐阜県市議会議長会議を開催しました。

岐阜県市議会議長会議は、県内の21市議会で構成されており、各市議会が協調して市政に関する諸般の課題について調査研究し協議を行っています。会議は、年2回(例年7月と2月)各市で開催されており、美濃加茂市では、平成19年2月以来の開催となりました。

会議では「地域医療提供体制の整備促進」、「地方公共団体が管理する公共施設等の適正管理への財源確保」について、国へ求めることを決議しました。

また、その後の講演会では、国土交通省大臣官房技術参事官 津田 修一氏を講師にお招きし『地域の活力を支える港湾』と題して、ご講演をいただきました。

議長会議の様子

講演会の様子

議場の“花”にもご注目ください！

議場の議長席、演壇、質問席に飾られている花は、加茂農林高校園芸流通科の生徒さんに作っていただいています。

議会のインターネット中継や傍聴へお越しの際には、議場の“花”にも、ぜひご注目ください。

市議会本会議の様子をインターネットにて配信しています。議会の開催日にはライブ中継も行っています。パソコン、スマートフォンやタブレット端末でお気軽にご視聴ください。

■美濃加茂市議会 議会中継 アドレス

http://smart.discussvision.net/smart/minokamo/

美濃加茂市議会　議会中継　検索

議会中継

編集後記

先日、地域の方から「議会だよりは議員の方が編集をしているのか。以前より読みやすくなったぞ。」と言われ、編集委員として、うれしく感じました。

編集委員会は、年４回の定例会での議会審議、各常任・特別委員会の内容等、議会から発信する内容が、市民の皆様により有益な情報となり、少しでも市政や議会に関心を持っていただけるよう改善に取り組んでいます。

市民と議会の架け橋となる「みのかも市議会だより」。より一層読みやすく、わかりやすく、親しみのある誌面作りに努めていきますので、皆様のご意見等お待ちしております。

渡辺　孝男

次の定例会の予定

平成29年市議会第3回定例会

8月30日(水)	初　日	
9月 6日(水)	一般質問	
7日(木)	一般質問	
8日(金)	一般質問	
11日(月)	質　疑	
22日(金)	最 終 日	

場所：市役所本庁舎3階 議場

時間：午前9時から(最終日は委員会終了後)

※日程は、都合により変更となる場合があります。
詳細は、議会事務局までお問い合わせください。

市議会では、政務活動費の支出内容の明確化と透明性の確保のため、各会派の政務活動費の収支報告書・出納簿及び領収書を、ホームページにて公開しました。(公開内容は平成28年度分)

市議会ホームページ ⇒ 情報公開 ⇒ 政務活動費支出状況 からご覧いただくことができます。引き続き、健全な議会運営に努めてまいります。

次回の議会だよりは、平成29年11月1日を予定しています。ご意見ご感想は、市議会ホームページ(ご意見・アンケート)、はがき、ファックス、メールにてお寄せください。

■発行　美濃加茂市議会
■編集　議会だより編集委員会
〒505-8606 岐阜県美濃加茂市太田町3431-1
■ホームページ http://gikai.city.minokamo.gifu.jp
■メール　gikaigoiken@city.minokamo.lg.jp
■TEL(0574)25-2111内線281　FAX(0574)28-1106